

福田 保 先生を偲んで

名誉会員 村田幸男

1月7日の関西支部役員会の時に福田先生が食道ガンを関西医大病院に入院され手術は出来ないから放射線治療をされるようだという報告があり愕然とした次第です。先年の8月29日に大阪で白色度研究委員会があり、この時はお元気で帰りに内田洋子先生と私の3人で楽しく御馳走して頂いたのに、それから4ヶ月しか経っていませんでした。1月17日にスコットカラー（株）の尾中さんとご一緒してお見舞いにお伺いしましたがあまりに衰弱しておられびっくりした次第でした。内田先生が1月25日にお見舞いに行かれましたが衰弱もかなりだったという連絡がありました。それから1週間程で神に永遠の命を与えられ昇天されました。（先生は敬虔なクリスチャンでした）

福田先生の日本の色彩学の発展に貢献された御業績は日本色彩学会誌（26, 205～211（2002））に第5回学会賞受賞記念として先生御自身で投稿された「色彩学会と共に50年」に詳細に紹介されているので是非ご一読ください。

私は染料工業分野で昭和28年頃から今日まで約50年間に亘って福田先生のご指導を受けて成長しました。この間で思い出の深いものを挙げてみると

1. 昭和28年頃、勤務していた住友化学が染料の色彩管理の近代化のためにGE社の自記分光光度計を導入したのを契機に装置の運転・保守管理と測色学の指導をして頂きました。
2. 日本学術振興会第134委員会（染色堅ろう度と測色）の第一分科会で蛍光増白剤の堅ろう度規格作成でご尽力を頂きました。この成果をISO TC38/SC1（1964）に提案しております。
3. AIC97（京都）において福田先生を中心として日清紡（大住）、ミノルタ（井村）、大妻女子大（内田）と私でグループを作りEvaluation of CIE 1986 Whiteness Formula Using CRT Color Monitor という発表を行いました。

これにD.C.Rich氏が関心を持たれCRA誌上で絶賛



された記事が載ったのを私らが気付かなかったのに福田先生が素早く見つけて知らせて下さいました。

これに励まされて2002年の色彩学会全国大会において上記のメンバーで「CRTディスプレイを用いた色彩管理技術」を発表しました。

以上のように従来の測色学の基礎的理論から最近の色彩画像技術に至るまで広範囲なご指導を受け今日に至っています。福田先生は80歳というまだこれからという時に急逝されたのは如何にも残念ですが、特に産業界にあって福田先生の手厚い御指導を受けた者の1人として謹んで御冥福お祈りする次第です。

1923年5月14日生れ

47年9月大阪帝国大学工学部卒

10月商工省大阪工業試験所入所

71年工業技術院中国工業技術試験所所長

79年大妻女子大学家政学部教授

80年日本色彩学会会長

2004年1月31日 死去（80歳）